

事例 12 福岡県黒木町

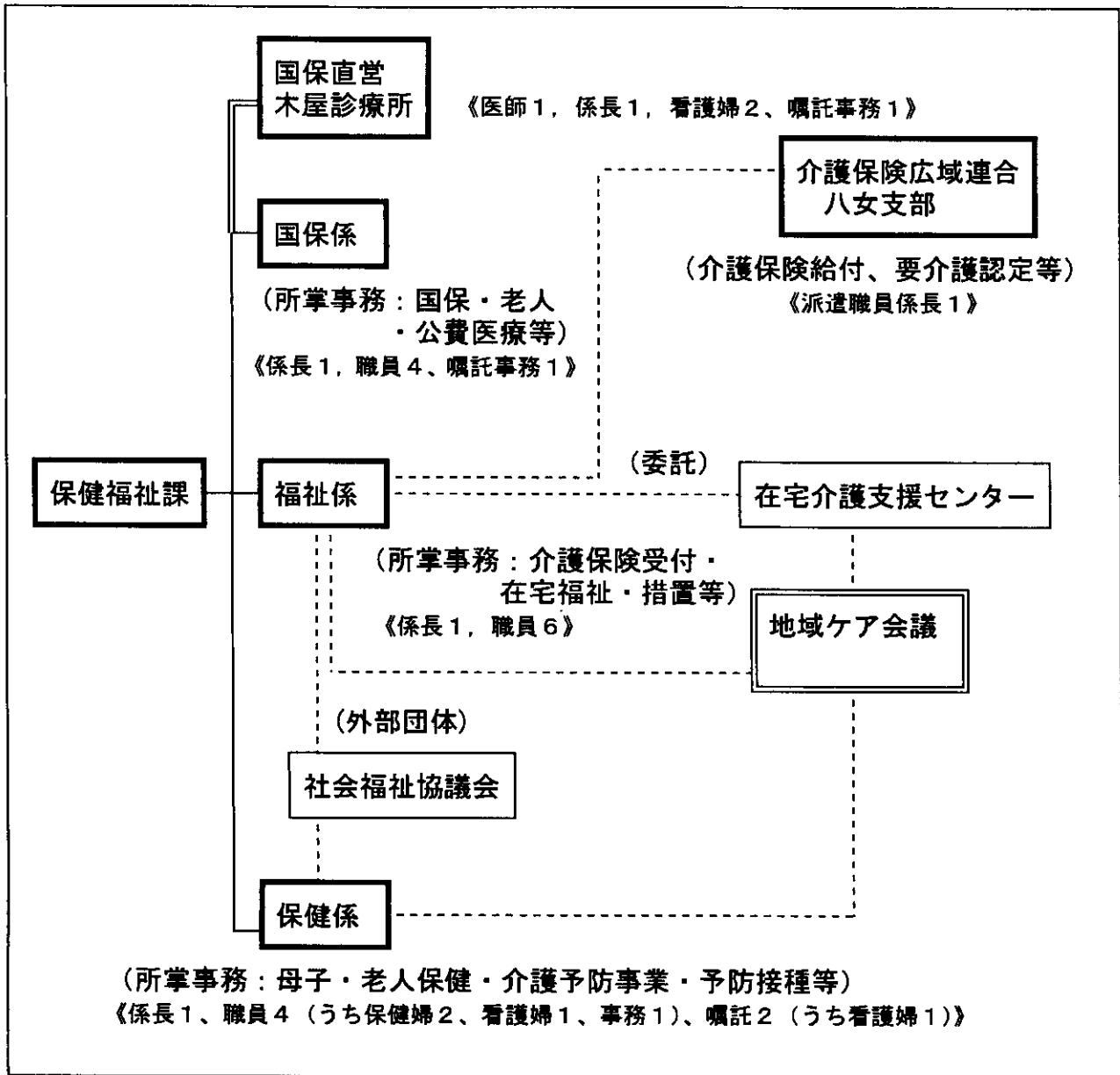
人 口	15,043 人
高齢者数	4,226 人
高齢化率	28.09%
担当部署	保健福祉課保健係

1. 市町村の概況

市町村の沿革・概要	<p>本町は、東経130度40分、北緯33度12分に位置し、東は観光百選となった日向神渓谷を経て、矢部村から大分県へ通じ、南は熊本県と境し、西は八女市、立花町と隣接、北は高牟礼山脈を境として星野村、上陽町と接しています。</p> <p>九州自動車道の八女インターチェンジや広川インターチェンジ、また国道3号にも近く、八女市まで自動車で20分、福岡市から自動車で約90分の所要時間となっており、国道442号が本町を横断し、生活及び産業の基幹的役割を果たしています。</p> <p>福岡県内の町村の中でも、最も面積が広く、恵まれた自然を十分に生かした農林業の町として、また古くから八女東部の中核的な町として発展してきました。明治22年の町村制施行により、黒木町、今村、桑原村の三ヶ町村を合併して黒木町とし、更に昭和29年、黒木町、豊岡村、串毛村、木屋村、笠原村の五ヶ町村が合併、これに昭和32年の大淵村の編入合併で、現在に至っています。</p>									
	人口	15,043人			高齢者数(高齢化率)		4,226人(28.1%)			
世帯数	65歳未満の者のみの世帯			65歳以上の者のいる世帯						
	1,357			単独世帯	65歳以上夫婦のみの世帯			その他		
				306	553			1,790		
要介護認定(申請)者数	申請中	非該当	要支援	要介護1	2	3	4	5	合計	
	4	22	119	156	81	53	59	42	510	
社会	指定居宅サービス事業所(か所数)	訪問看護 (0) 訪問介護 (2) 通所介護 (1) 通所リハ (2) 短期入所生活介護 (1)								
	指定居宅介護支援事業所(か所数)	4ヶ所								
資源	保健センター 在宅介護支援センター(か所数)	在宅介護支援センター 1ヶ所								
状況	介護予防事業の拠点となりうる場(か所数)(公的施設以外も含む)	老人福祉センター、開発センター、町民体育館 各地区集会所・公民館など								
況	介護予防事業の担い手となりうる組織・団体(組織・団体数・人員数)	愛のネットワーク実行委員 (単位老人クラブ会長(61名)、婦人会、民生委員(36名) 福祉委員(69名)、区長(50名)、分館長(50名)等 食生活改善推進会(115名)、社会福祉協議会、八女筑後医師会、健康づくり推進協議会、介護老人保健施設「回寿苑」、在宅介護支援センター「桜の里」、スポーツ施設「アクマイクラブ」等								

(秘件用紙)

2. 市町村の高齢者保健福祉行政の組織図



3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」に関連(類似)する事業がありましたか?</p>	<p>(○) 関連(類似)事業があった。→問2～問4へ () 関連(類似)事業はなかった →問5へ</p>
<p>(問2) 実施していた事業は、どのような根拠に基づき、どの部局が所管していた事業ですか? また、その事業内容についてもご記入下さい。</p> <p>※既存資料で、事業内容等わかるものがあれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業実施の根拠(国庫補助事業、 県単独助成事業)、 所管部局、 事業内容(事業名、事業目的、</p> <p>事業実施の根拠 : 老人保健事業 所管部局 : 保健福祉課保健係 事業内容(事業名、事業目的、対象者、実施回数、スタッフ等)</p> <p>☆僻地健康相談(健康相談) 目的：血圧測定値等を参考に生活習慣の改善を目的にした保健指導を個別に行う 内容：毎月2回僻地公民館で実施。保健婦と看護婦が僻地を中心に公民館などを巡回し血圧測定、健康相談を住民に対して実施。</p> <p>☆老人クラブ健康教育 各地区の老人クラブからの要請により、保健婦が血圧測定や講話を実施。 年に40回程度</p> <p>☆シルバーヘルス事業 年に1～3回</p> <p>☆ミニデイサービス事業 嘱託職員2名により要援護老人を対象に週4回実施</p> <p>☆痴呆専門デイサービス 保健婦、看護婦、ボランティアが痴呆老人を対象に月2回実施</p>
<p>(問3) 上記事業の効果測定(評価)を行いましたか?</p>	<p>(○) 行った () 行っていない</p> <p>↓ (具体的方法) 平成12年度予算編成前に各担当者より効果を含め情報交換を行い、継続の有無や内容変更について協議を行った。また、住民の意向を事前に把握した。</p>

3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問4) 従来の事業を「介護予防事業」という形で見直したり、また新たな施策を企画することになった経緯について下記の様な点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心となった部局はどこか？ ・ 何がきっかけとなり、どのような判断をしたのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心となった部局：保健福祉課保健係 <p>町人口の少子高齢化とともに一人当たりの老人医療費も年々高騰しているなか、平成12年度から介護保険が導入される背景もあり、健康寿命をのばし元気な高齢者をつくろうということが、きっかけになっている。</p> <p>従来のヘルス事業と介護予防事業は、共通点も多い。また、補助金の形態も変わってきているので、介護予防事業として内容を見直すとともに、新しい事業も追加した。</p>
<p>(問5) (問1)で、関連(類似)事業がなかったと答えた市町村にお聞きします。 今般、「介護予防事業」に取り組もうとしたきっかけは何ですか？</p>	

4. 「介護予防事業」の企画立案体制について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」の企画立案体制について下記のような点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような場を利用し、どのような機関・団体等と協議したのか？ ・学識経験者や現場の担い手などの意見をどのように採り入れたか？ ・高齢者やその家族、地域住民等の参加する機会があったのか？ ・どの部局が中心となって企画し、他の部局との協力体制は、どうであったのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会と保健福祉課（保健係及び福祉係）で事業の実施内容について事前に検討し、事業実施案を作成後、町民生委員会、老人クラブ、町内医師会、健康づくり推進協議会、食生活改善推進会等の機関・団体と協議した。
<p>(問2) 「介護予防事業」を企画する際、下記の様な検討事項があったと思います。 貴市町村での検討事項と検討内容、その結果について記入して下さい。</p> <p>(検討事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズをどのように把握するか？ ・事業対象者の選定方法はどうか？ ・事業に従事する人材をどのように確保するか？ ・既存の設備の利用が可能か？ ・新たな設備整備が必要か？ ・どの部局の事業予算をどのように確保するか？ 	<p>(ニーズ把握の方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者実態調査により把握 ・ 保健婦、看護婦、ホームヘルパーの訪問活動等により連携をとり対象者を把握し、参加勧奨 ・ 町職員（保健婦、看護婦）と在宅看護婦を一部雇い上げ ・ 既存の施設利用 ・ 保健福祉課保健係の予算に、「介護予防事業」の科目を新設し、事業予算を確保した。

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業名、事業目的、対象者、事業内容、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. つよしとる会 <p>(目的) 介護予防事業の一環として、健康寿命を延ばし社会的な活動能力を保つ。</p> <p>(対象者) 40歳以上の希望者</p> <p>(内容) 毎月第3木曜日 午前10時～12時まで老人福祉センターで健康増進のため運動を行う。</p> <p>(開始時期) 平成12年4月</p> <p>(スタッフ) 保健婦、看護婦</p> <p>(参加費用) 無料</p> 2. ふれあい健康教室 <p>各地区を巡回し、健康相談と併せて運動を行い、痴呆予防、転倒予防、閉じこもり防止、健康づくりについての教室を開催する。</p> <p>(対象者) 40歳以上の希望者</p> <p>(内容) 日時及び会場は、回覧板等で知らせる。</p> <p>(開始時期) 平成12年4月</p> <p>(スタッフ) 保健婦、看護婦</p> <p>(参加費用) 無料</p> 3. 一人暮らし高齢者との懇談会 <p>町社会福祉協議会・民生委員会・食生活改善推進会の協力により、65歳以上の一人暮らしの方を対象に健康講話(体操実技等含む)、食事指導、懇談会を行う。</p> <p>(対象者) 65歳以上の一人暮らしの方</p> <p>(内容) 9月～10月 各地区の集会所で実施。保健婦による健康相談、健康講話、食生活改善推進員による調理配食。</p> <p>(開始時期) 平成 年</p> <p>(スタッフ) 保健婦、社協職員、民生委員、食進会</p> <p>(参加費用) 無料</p> 4. リハビリクラブ <p>40歳以上で脳血管障害等の後遺症により不自由な生活をしている方が、健康な生活を取り戻すために、簡単な運動の他、風船バレー、グラウンドゴルフ、他市町村との交流会等を実施。</p> <p>(対象者) 40歳以上で脳血管障害等の後遺症によ</p>

	<p>り不自由な生活をしてあり、訓練を必要とする方。</p> <p>(内容) 毎月第2金曜と第4木曜日の午前10時～午後3時まで老人福祉センターで実施。</p> <p>(開始時期) 平成13年4月</p> <p>◎平成12年度までは、保健事業で実施</p> <p>(スタッフ) 保健婦、看護婦</p> <p>(参加費用) 無料</p> <p>5. リハビリ相談</p> <p>理学療法士による機能訓練相談を行う。</p> <p>(対象者) 40歳以上の方で個人指導が必要な方</p> <p>(内容) 毎月第3木曜日午後1時30分から3時まで老人福祉センター機能訓練相談を実施</p> <p>(開始時期) 平成12年4月</p> <p>(スタッフ) 理学療法士、保健婦</p> <p>(参加費用) 無料</p> <p>6. 栄養相談</p> <p>栄養士と保健婦による食事についての相談 血圧測定を行う。</p> <p>(対象者) 40歳以上の希望者</p> <p>(内容) 毎月第1金曜日 午後1時30分から3時まで開発センターで食事の相談を実施。</p> <p>(開始時期) 平成9年4月</p> <p>(スタッフ) 栄養士、保健婦</p> <p>(参加費用) 無料</p> <p>7. 操体法教室</p> <p>臨床心理士の講師による操体法実技指導</p> <p>(対象者) 40歳以上の希望者</p> <p>(内容) 年3回各地区集会所で臨床心理士の講師を招き、操体法教室を開催</p> <p>(開始時期) 平成12年4月</p> <p>(スタッフ) 臨床心理士、保健婦、看護婦</p> <p>(参加費用) 無料</p>
<p>(問2)</p> <p>住民に対して、どのように事業を周知しましたか？</p> <p>※周知するための広報資料の現物の写しなどがあれば添付して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区長会を通しての回覧周知 ・町有線放送、広報誌による周知 ・訪問による個別勧奨

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄																																
<p>(問3) 「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村での実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <!-- Empty answer box for question 3 --> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">事業費</th> <th style="text-align: center;">年間実施回数</th> <th style="text-align: center;">年間利用者数 延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>つよしとる会</td> <td style="text-align: center;">45千円</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: center;">120人</td> </tr> <tr> <td>ふれあい健康教室</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">220</td> </tr> <tr> <td>一人暮らし高齢者との懇談会</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">200</td> </tr> <tr> <td>リハビリクラブ</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">350</td> </tr> <tr> <td>リハビリ相談</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td>栄養相談</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> <tr> <td>操体法教室</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業費	年間実施回数	年間利用者数 延べ人数	つよしとる会	45千円	12回	120人	ふれあい健康教室	90	32	220	一人暮らし高齢者との懇談会	60	6	200	リハビリクラブ	100	24	350	リハビリ相談	95	12	30	栄養相談	80	12	36	操体法教室	50	3	100
事業名	事業費	年間実施回数	年間利用者数 延べ人数																														
つよしとる会	45千円	12回	120人																														
ふれあい健康教室	90	32	220																														
一人暮らし高齢者との懇談会	60	6	200																														
リハビリクラブ	100	24	350																														
リハビリ相談	95	12	30																														
栄養相談	80	12	36																														
操体法教室	50	3	100																														
<p>(問4) 現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<p>・参加者が少しずつ増加傾向にあり、楽しく生き甲斐のように感じられていること。</p>																																

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問5) うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業内容について、参加者の意見を取り入れながら参加者と一緒に考え事業をすすめている。
<p>(問6) 今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の実施場所がせまい。 ・ 実施できる内容が限られる。
<p>(問7) 現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	

6. 「介護予防事業」の評価について

※行政が主体となって実施する（直轄・委託）保健・福祉事業に対する評価について伺います。

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「事業ごとの評価」について伺います。</p> <p>①各事業メニューごとに評価を行っていますか？</p>	<p>() 行っている。→②へ</p> <p>(○) 行っていない。</p>
<p>②具体的な評価方法について記入して下さい。 (評価指標、評価時期、評価者等)</p> <p>※「事業ごとの評価」を行っている評価の資料があれば、添付して下さい。</p>	<p>評価時期</p> <p>5年後に予定している。</p>
<p>(問2) 「介護予防事業全体の評価」について伺います。</p> <p>①介護予防事業全体としての費用対効果をどのように評価していますか？ また、今後どのように評価したいと考えますか？</p>	
<p>②各種の介護予防事業関連施策における定量的あるいは定性的な評価指標などがあれば記入して下さい。</p>	

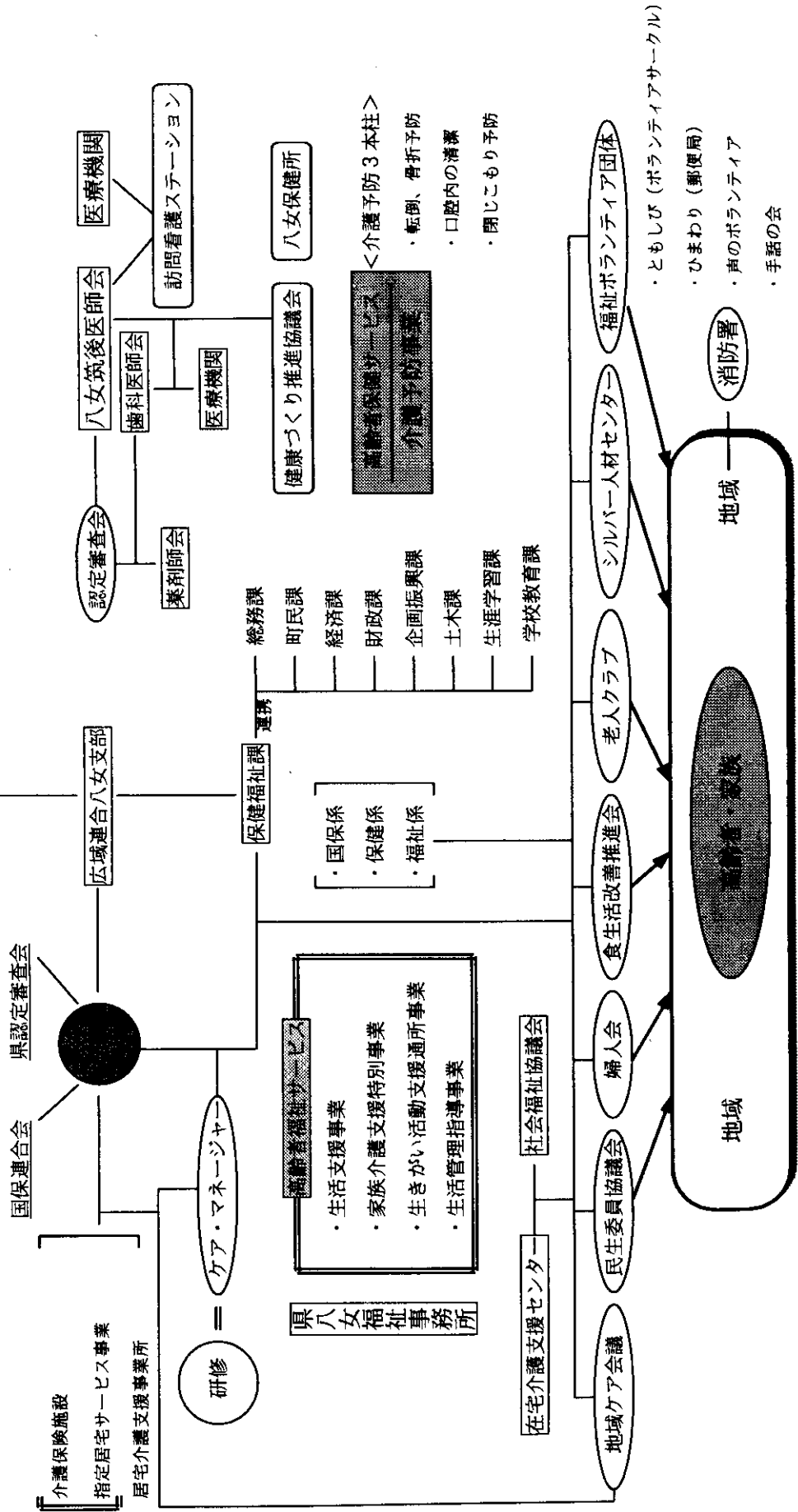
黒木町高齢者支援体系図

<介護保険・高齢者福祉関連>

<医療・保健事業関連>

介護保険施設
指定居宅サービス事業
居宅介護支援事業所

福岡県介護保険広域連合本部



自立レベル	介護保険・福祉関係	保健事業（介護予防）
自立者	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険サービス 家族介護教室 介護用品給付サービス事業 家族介護者ヘルパー受講支援事業 家族介護慰労事業 訪問理美容サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> 健康手帳の交付 機能訓練 訪問指導 健康教育 健康相談 健康診査 鍼・灸指圧施設利用事業 へき地医療対策事業（へき地患者輸送車）
要介護者	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援サービス 在宅高齢者等住宅環境整備事業 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">介護予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①転倒予防教室 ②痴呆予防事業 ③IADL訓練事業 ④地域住民グループ支援事業 ⑤高齢者食生活改善事業 ⑥生活習慣改善事業 </div>
要支援者	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険サービス 	<ul style="list-style-type: none"> 生きがい活動支援通所事業 生活管理指導事業 軽度生活支援事業 寝具洗濯乾燥消毒サービス 一人暮らし老人等配食サービス事業 緊急通報装置給付等事業 高齢者ビデオ図書館 老人日常生活用具給付等事業
自立者	<ul style="list-style-type: none"> 在宅高齢者等住宅環境整備事業 外出支援サービス 住宅改修指導事業 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅高齢者等住宅環境整備事業 外出支援サービス 住宅改修指導事業

●黒木町における介護保険・福祉関係・保健事業（介護予防）のイメージ図

**精神保健福祉相談
(心の健康相談)**

自分のことで不安や悩みがあっ
て困っている人、家庭内に心配事
がある人、職場内での人間関係の
悩みなど、心の健康相談のある人
は、お気軽にご相談ください。相
談は無料です。

- 相談日 毎週月曜日
- 時間 午後1時～2時30分
- 場所 八女保健所
- ※予約制ですので前もってお電話
ください。
- 問い合わせ 八女保健所保健課
精神保健福祉係 ☎22-6966

巡回相談

心の健康相談のある人は気軽に
ご相談ください。

- 相談日 5月18日・10月12日・
平成13年2月8日
- 時間 午後1時30分～3時
- 場所 黒木町社会福祉協議会
- 問い合わせ 八女保健所保健課
精神保健福祉係 ☎22-6966



思春期保健相談

親子関係、家庭内暴力、不登校、
無気力、拒食・過食、性など思春
期をとりまくいろいろな悩みをご
相談ください。相談は無料です。

- 相談日 毎月第1～第4火曜日
- 時間 午後1時～2時
- 場所 八女保健所
- ※予約制ですので前もってお電話
ください。
- 問い合わせ 八女保健所保健課
精神保健福祉係 ☎22-6966



**健康寿命を延ばして
介護予防事業を始めます**

平成12年4月1日から介護保険制度がスタート
しました。すでに昨年10月から介護認定の申請が
始まり、黒木町でも約400件申請されています。
そのうち300件弱が認定審査判定を受け、結果通
知が送付されています。要支援と要介護1～5ま
での人は、それぞれの状況に応じた介護給付を受
けられるようになってきていると思います。

介護保険の被保険者となるのは、40歳からで
すが、ほとんどの人は、健康で自立しています。で
も、高齢になるほど心身の機能は低下していきま
す。平均寿命世界一の今の時代、高齢になっても
社会的な活動能力を保ち続け、健康寿命を延ばし

ていくことがこれからの課題
です。

黒木町では、平成12年度か
らさまざまな介護予防事業を
始めていきます。健康づくり
へのきっかけとして活用していただきたいと思っ
ています。



檜室保健婦

お問い合わせは
黒木町役場保健福祉課保健係へ
☎42-1111

名称	ふれあい健康教室	つよしとる会	リハビリテー ションクラブ	リハビリ相談	栄養相談
場所	各地区公民館な どの施設	老人福祉センター	老人福祉センター	老人福祉セン ター	開発センター
日時	区長会を通して おしらせします	毎月第3木曜 午前10時～12時	毎月第2金曜と 第4木曜10時～15時	毎月第4木曜 午後1時～3時	毎月第1金曜 午後1時30分 ～3時
内容	保健婦・看護婦 による健康体操 と健康相談	健康チェックと 健康体操(昼食 代自己負担)	健康チェックと機 能訓練のための運 動、工芸等(昼食 代自己負担)	理学療法士によ る機能訓練相談 (個人指導)	栄養士による 食事について の相談